

令和5年度 学校評価シート（自己評価）

新 明 幼稚園

1、園の教育目標

恵まれた自然環境の中で徳・体・智の幼児教育を目標とする

<めざす子ども像>

- ① 情操豊かな幼児（思いやりのある子）
- ② 心身ともに健康な幼児（心も体も健康な子）
- ③ 理解力の深い幼児（話をよく聞き、考える子）の育成をめざして保育に取り組む

2、具体的な目標や計画

新型コロナウイルスが第5類に移行することで園行事等の見直しを図る。

- ① （基本的な予防対策を続けた上で、コロナ禍前の活動に少しずつ近づけていく）
室内プールは、コロナ禍前と同様に実施する。夏まつり、運動会、発表会は4年度と同様に行う。
もちつき大会は教員と園児だけで実施し、お別れカレーパーティーも4年ぶりに再開する。
- ② 「早寝早起き朝ごはん」の徹底と「歩いて育てる心と体」をさらに実施していく。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
保育の計画と指導計画の見直し	A	夏まつり、運動会、発表会、卒園式は4年度と同様に行い、保護者は1家庭2名の参加として全園児で実施する事が出来た。 もちつき大会は保護者を除き、園児と教職員だけで行い、1人1回ずつ餅をついた。 3学期のお別れカレーパーティーは、年長児がカレーを作り、全員で会食して楽しく過ごす事が出来た。
教職員間の連携	B	経験豊富な保育者が多いため、様々な活動に関して共通理解を深めることが出来たが、意見の違いや温度差が生じることがあった。職員会議を増やして意見交換をしたり、思いを理解する必要があったと思う。
保護者との連携、関係づくり 外国籍の保護者との連携、 関係づくり	B	毎日の健康観察カードは廃止したが、体調管理に努めてもらう事が出来た。 外国籍の家庭には、行事等の内容を分かりやすく伝えてきたが十分に理解してもらえなかった。

園内研修の充実を図る 気になる子や特別な支援が必要とされる園児への対応	C	・専門家の巡回相談やアドバイスを参考にして共通理解を図る事が出来たが保育者の質の向上にはつながらなかったようだ。 無料のオンライン研修や園内研修の時間が足りなかった。 積極的な意見交換が求められる。
--	---	---

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に続いて園行事や毎日の保育活動を実施出来たが、子どもたちの主体的な遊びが十分に展開されたとは言えない。 ・もちつきやお別れカレーパーティーを再開出来た事はとても有意義だった。 ・どの学年も日常的に近くの公園や畑などへ散歩に出かけ、「歩いて育てる心と体」の実施に努めることが出来た。

○結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性と指導計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが第5類に移行することを踏まえ園行事等の見直しをはかる ・保育の記録をもとに子どもの姿や育ちを振り返り、ひとり一人の理解に努める。 ・主体的な遊びが展開されるような環境構成を考える ・園の教育方針を十分に理解し、無理のない指導を行う。
保護者との連携、関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿や育ち、活動内容や取り組みを令和3年度に引き続いて写真やホームページなどを利用して積極的に伝える ・子育ての悩みや相談に応え、良好な関係を築いていく
園内研修の充実をはかる（気になる子や特別な支援が必要とされる園児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子等の共通理解と個別の指導計画の作成を行うために園内研修の充実に努める ・外国籍の子（保護者）の対応など研修を行い、理解を深めていく
教職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の入れ替えがあるため教職員間の連携が不可欠となる。 ・小さなことでも共通理解を深めながら進めていく